

- 問1 16世紀、カトリック教会の一部門として結成されたイエズス会が、日本をはじめとするアジアや南米への布教活動を積極的に行った背景として最も適切なものはどれですか。 (2017年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. ヨーロッパで宗教改革が起こり、カトリック教会が失った勢力を回復しようとしたため | 2. プロテスタントの教えを世界中に広めることで、教皇の権威をさらに高めようとしたため | 3. 十字軍の遠征が失敗したため、軍勢力ではなく信仰によって聖地を奪還しようとしたため | 4. ルネサンスの影響で科学技術が発達し、キリスト教以外の新しい宗教を広める必要があったため |
|--|---|---|--|
- 問2 1549年に鹿児島へ上陸し、日本に初めてキリスト教を伝えた宣教師について、彼の所属組織と人物名の組み合わせとして正しいものはどれか。なお、この人物は後に山口などでも布教を行い、胸の前で手を合わせる姿を描いた肖像画のモデルとしても広く知られている。 (2020年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------|--------------------------|----------------------|---------------------|
| 1. イエズス会 — フランシスコ・ザビエル | 2. フランシスコ会 — フランシスコ・ザビエル | 3. フランシスコ会 — ヴァリニャーノ | 4. イエズス会 — ルイス・フロイス |
|------------------------|--------------------------|----------------------|---------------------|
- 問3 戦国大名が「分国法」を制定した主な背景と目的について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 海外との貿易を独占し、キリスト教の布教を認めることで南蛮文化を取り入れるため。 | 2. 朝廷から与えられた守護としての特権を誇示し、伝統的な荘園領主の権利を保護するため。 | 3. 将軍の命令を全国に徹底させ、守護大名の権限を制限することで幕府の権威を取り戻すため。 | 4. 領内の武士や農民の行動を統制し、領国を一つのまとまった組織として安定させ、他勢力との戦いに備えるため。 |
|--|--|---|--|
- 問4 鉄砲の伝来がその後の日本の戦いや社会に与えた影響として、最も適切な説明を選びなさい。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 外国との交易が危険視されたため、すぐに鉄砲の使用や製造が全面的に禁止された。 | 2. 集団戦法が主流となり、強力な火力から守るための堅固な城が築かれるようになった。 | 3. 鉄砲の製造が困難であったため、一部の特権階級のみが儀礼用として保持した。 | 4. 武士個人の技術がより重視されるようになり、刀や弓矢による一騎打ちが増加した。 |
|---|--|---|---|
- 問5 戦国時代の日本において、全国統一の動きを加速させる要因となった鉄砲について、その伝来の経緯を説明したものとして正しいものはどれか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---------------------------------------|------------------------------------|
| 1. キリスト教の布教を目的としたスペイン人の宣教師によって、平戸で初めて紹介された。 | 2. 元寇の際に、元軍が使用していた「てつほう」を日本側が改良して国産化した。 | 3. 日明貿易の進展に伴い、日本の商人が中国から直接買い付けて持ち帰った。 | 4. 種子島に漂着したポルトガル人によって、1543年に伝えられた。 |
|---|---|---------------------------------------|------------------------------------|
- 問6 1549年にフランシスコ・ザビエルが日本に上陸し、キリスト教を伝えた背景には、当時のヨーロッパにおける宗教情勢が深く関わっています。キリスト教が日本に伝えられるに至った直接的な背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2020年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 宗教改革によるカトリック教会の勢力衰退に対し、新たな信者を獲得するためにアジアなど海外への布教が重視された。 | 2. ルターが自身の教えを世界に広めるために組織を設立し、その活動の一環として日本が最初の布教先に選ばれた。 | 3. 十字軍の遠征が失敗に終わったことで、キリスト教徒がイスラム教勢力に対抗するための同盟国を東アジアに求めた。 | 4. ルネサンスの進展によって人間中心の考え方が広まった結果、宗教の枠組みを超えた世界規模の文化交流が推奨された。 |
|---|--|--|---|
- 問7 室町時代後半から戦国時代にかけて、各地で勢力を強めた戦国大名は、家臣や領民を統制し、自らの領国を独自のルールで支配しようとした。このように、戦国大名が領国支配のために独自に制定した法律を何とといいますか。 (2021年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|-----------|--------|
| 1. 御成敗式目 | 2. 武家諸法度 | 3. 十七条の憲法 | 4. 分国法 |
|----------|----------|-----------|--------|
- 問8 日本の戦国時代にあたる16世紀、ドイツのマルティン・ルターが、当時のカトリック教会の腐敗を批判したことから始まったキリスト教の改革運動を何とといいますか。 (2018年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|--------|---------|
| 1. ルネサンス | 2. 宗教改革 | 3. 十字軍 | 4. 産業革命 |
|----------|---------|--------|---------|
- 問9 加賀の一向一揆が、同時期に発生した「土一揆」などの他の社会運動と異なり、守護大名を倒して約100年もの長期にわたる自治を維持できた最大の要因として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 惣村と呼ばれる村の自治組織が、室町幕府の將軍から直接的な軍事的支援を受けていたから。 | 2. 浄土真宗（一向宗）という宗教的な信仰を通じて、農民や地侍が極めて強固に団結していたから。 | 3. 守護大名が自ら権限を放棄し、農民たちに土地の所有権と徴税権を全面的に譲渡したから。 | 4. 加賀国においてのみ、鉄砲などの新式兵器を輸入するための自由貿易港が独占的に認められていたから。 |
|---|---|--|--|
- 問10 1543年にポルトガル人を乗せた船が漂着し、日本に初めて鉄砲が伝えられた場所はどこですか。その地理的な位置関係を示す説明として正しいものを選んでください。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------|------------------------------|
| 1. 関東地方の東部に位置し、東京湾の入り口にあたる千葉県のパウ | 2. 九州地方の北部に位置し、大陸との交流が盛んだった福岡県の博多 | 3. 四国地方の南部に位置し、太平洋に面した高知県の土佐清水 | 4. 九州地方の南端に位置する鹿児島県の離島である種子島 |
|----------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------|------------------------------|
- 問11 室町時代の中期、浄土真宗（一向宗）を信仰する地侍や農民たちが強く団結し、加賀国（現在の石川県）の守護大名である富樫氏を倒す出来事が起こりました。この蜂起によって実現した、その後約100年にわたる地域の状況を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2026年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 武家諸法度を無視したとして幕府から改易を命じられ、キリシタンを中心とした大規模な反乱が起きた。 | 2. 有力な国人たちが集まって合議制を敷き、守護大名の立ち入りを8年間にわたって禁じた。 | 3. 門徒たちが独自の政治体制を築き、「百姓の持ちたる国」と呼ばれるような自治を実現した。 | 4. 幕府に対して借金の帳消しを求め徳政一揆へと発展し、全国的な徳政令の発令を勝ち取った。 |
|--|--|---|---|
- 問12 日本の歴史における主要な出来事を時系列で整理したとき、鎌倉幕府の成立、室町幕府の成立、応仁の乱に続いて、16世紀に発生した出来事としてふさわしいものはどれですか。 (2020年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------|-------------|------------------|----------------|
| 1. 種子島への鉄砲の伝来 | 2. 御成敗式目の制定 | 3. 日明貿易（勘合貿易）の開始 | 4. 元寇による博多への侵攻 |
|---------------|-------------|------------------|----------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 ヨーロッパで宗教改革が起こり、カトリック教会が失った勢力を回復しようとしたため	16世紀のヨーロッパでは、ルターやカルヴァンらによる宗教改革が起こり、カトリック教会は多くの信者を失うなど大きな打撃を受けました。これに対抗するため、カトリック教会内部の立て直しを目指してイグナチオ・デ・ロヨラらによってイエズス会が結成されました。彼らは大航海時代の流れに乗り、失った勢力を補うべく、日本を含む海外への熱心な布教活動を展開しました。
問2	答え 1 イエズス会 ― フランシスコ・ザビエル	16世紀のヨーロッパでは宗教改革が起こり、それに対抗する形でカトリック側は自己改革と海外布教を推進した。その中心的な組織がイエズス会であり、創立メンバーの一人であるフランシスコ・ザビエルが日本にキリスト教を伝えた。ルイス・フロイスは織田信長と交流し『日本史』を記した人物であり、ヴァリニャーノは天正遣欧少年使節の派遣を指導した宣教師であるため区別が必要である。
問3	答え 4 領内の武士や農民の行動を統制し、領国を一つのまとまった組織として安定させ、他勢力との戦いに備えるため。	戦国大名は隣接する他の勢力と常に戦う状況にあり、領国内での内紛は命取りとなりました。そのため、武士たちの勝手な婚姻を禁止したり、農民が年貢を納める義務を明確にしたりすることで、領地全体を強力に統率し、富国強兵を図る狙いがありました。
問4	答え 2 集団戦法が主流となり、強力な火力から守るための堅固な城が築かれるようになった。	鉄砲の普及により、それまでの騎馬武者による一騎打ち中心の戦い方から、足軽による集団戦術へと大きく変化しました。織田信長が長篠の戦いで鉄砲隊を活用したことはその代表例です。また、鉄砲や大砲の攻撃に耐えるため、石垣を高く積み上げ、広い堀を持つ巨大な城郭が築かれるようになるなど、軍事・建築の両面に大きな変革をもたらしました。
問5	答え 4 種子島に漂着したポルトガル人によって、1543年に伝えられた。	鉄砲は1543年、鹿児島県の種子島に漂着したポルトガル人によって伝えられました。当時の島主であった種子島時堯がこれを買取り、刀鍛冶に命じて国産化を試みたことが、その後の日本国内での普及につながりました。モンゴル襲来時に使用された「てつほう」は火薬を用いた投擲武器であり、火縄銃とは構造が異なります。
問6	答え 1 宗教改革によるカトリック教会の勢力衰退に対し、新たな信者を獲得するためにアジアなど海外への布教が重視された。	ルターによる宗教改革の影響で、ヨーロッパ内でのカトリック教会の勢力が弱まりました。これに危機感を抱いたカトリック側は、失った勢力を補い、教勢を回復させるために、大航海時代でつながったアジアなどの海外諸国へ積極的に進出しました。イエズス会の活動はこの一環であり、日本へのキリスト教伝来もその大きな流れの中に位置づけられます。
問7	答え 4 分国法	室町幕府の権威が衰退した戦国時代、各地の戦国大名は幕府の法律に頼らず、自分の領国（分国）を治めるための独自の法を定めました。これが分国法です。代表的なものに、武田氏の「甲州法度次第」や今川氏の「今川仮名目録」などがあります。これに対し、御成敗式目は鎌倉時代、武家諸法度は江戸時代に制定されたものです。
問8	答え 2 宗教改革	16世紀のヨーロッパでは、カトリック教会が免許符（贖宥状）を販売するなど腐敗が進んでいました。これに対しドイツのルターは「九十五ヶ条の論題」を発表して教会を批判し、信仰のよりどころを教会ではなく聖書に求めるべきだと説きました。この動きはヨーロッパ全土に広がり、プロテスタントと呼ばれる新しい派閥が生まれるきっかけとなりました。
問9	答え 2 浄土真宗（一向宗）という宗教的な信仰を通じて、農民や地侍が極めて強固に団結していたから。	加賀の一向一揆の最大の特徴は、浄土真宗の信仰に基づく組織的な団結力にあります。各地の寺院を拠点に、武士だけでなく一般の農民までが教えのもとに結集したことで、従来の守護大名の支配を跳ね返すほどの軍事力と政治力を持つに至りました。この宗教的なネットワークが、単なる不満による一時的な暴動（土一揆）とは異なる、持続的な自治体制を支える基盤となりました。
問10	答え 4 九州地方の南端に位置する鹿児島県の離島である種子島	1543年、九州の南にある種子島にポルトガル人が漂着した際、島主の種子島時堯が彼らから火縄銃を購入したことで日本に鉄砲が伝来しました。この出来事をきっかけに、日本国内でも鉄砲の製作が行われるようになり、全国へ普及していきました。
問11	答え 3 門徒たちが独自の政治体制を築き、「百姓の持ちたる国」と呼ばれるような自治を実現した。	1488年、加賀国では浄土真宗の門徒たちが結束して守護大名を自害に追い込みました。この出来事は、それまでの階級社会において農民や地元の武士が中心となって、約1世紀という長期間にわたり自分たちの手で地域を運営（自治）したという点で、日本の歴史上非常に特異な事例とされています。織田信長によって平定されるまで、この体制は維持されました。
問12	答え 1 種子島への鉄砲の伝来	鎌倉時代の御成敗式目制定や元寇、室町時代の幕府成立や応仁の乱を経て、戦国時代に入った1543年にポルトガル人によって鉄砲が伝えられました。これは時系列において、室町幕府が衰退し戦国大名が台頭する時期にあたります。